

平成24年6月27日

お 知 ら せ

資料提供

三次記者クラブ

地元自治振興会主催行事の一環として 尾道松江線の現場をご案内します

～橋の上から自分たちの故郷（ふるさと）の姿を眺めてみよう～

三次市吉舎町三玉地内から海田原地内まで、中国横断自動車道尾道松江線のウォーキングによる現場見学会を行います。

この行事は、三次市吉舎町の^{なかよあさな}中四字自治振興会から『開通すると歩くことが出来ない尾道松江線の橋の上を、みんなでぼちぼち歩きながら、自分たちの暮らしている地域をゆっくり眺め、しっかり目に焼き付けたい』との申し出があり開催するものです。

今回の見学会は、平成24年5月に開催した吉舎自治振興会に続いて、三次市吉舎町における今年度第2回目の見学会として、およそ80名が参加し、海田原橋や三玉トンネルなど、日頃は下から見上げるだけの橋の長さや高さを実感しながら、全長約2kmを歩くものです。

開催日時：平成24年6月30日(土)8:00～11:00【小雨決行】

集合場所：^{なかよあさな}中四字コミュニティセンター【8:00集合】

(三次市吉舎町三玉626番地6)

※構造物の名称は、仮称です。

●問い合わせ先 国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

副所長(道路担当)

^{しんたく}新宅

^{きよと}清人

【担当】調査設計課長

^{かげやま}景山

^{ひろたか}浩孝

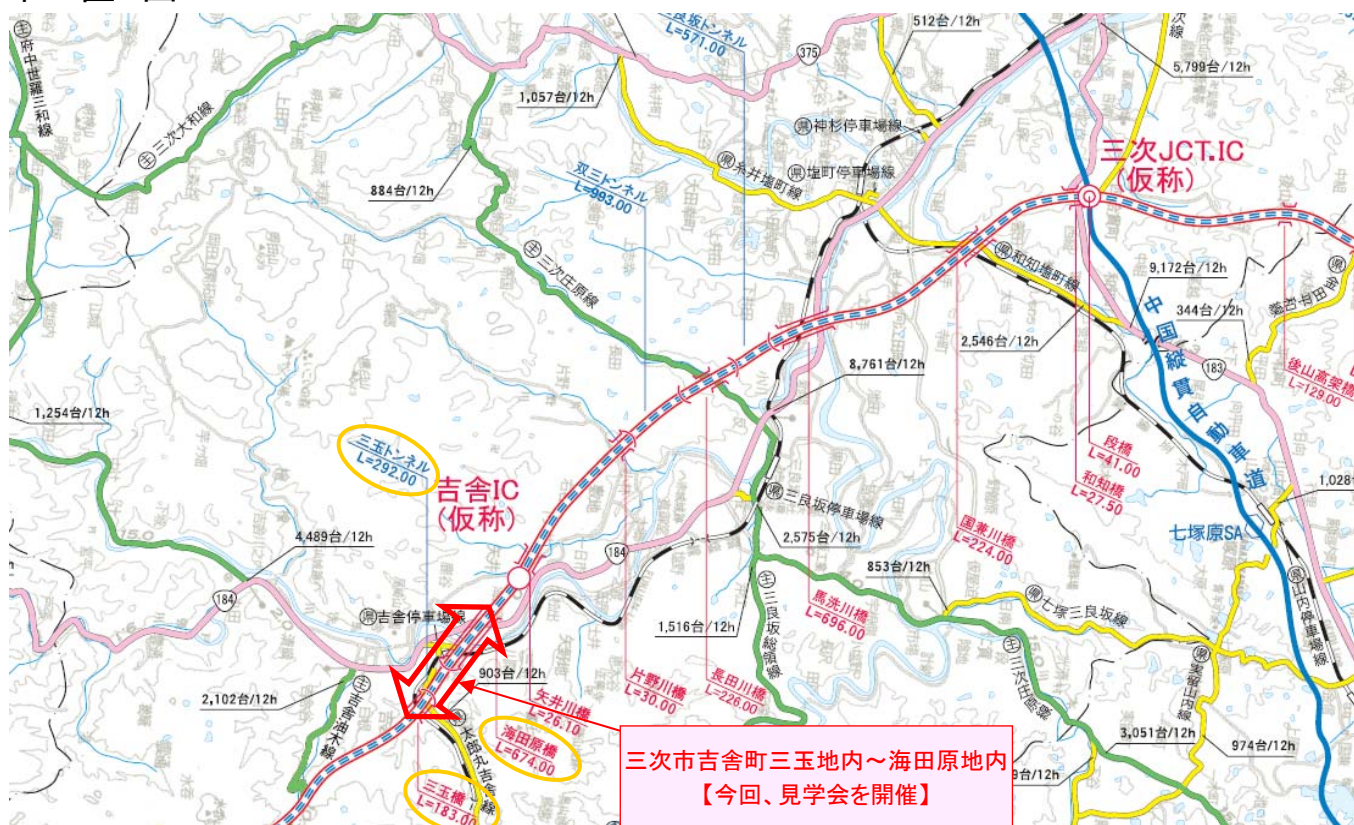
【広報担当】建設専門官

^{なかい}中井

^{きみお}喜美男

TEL:(0824)63-4121(代表)

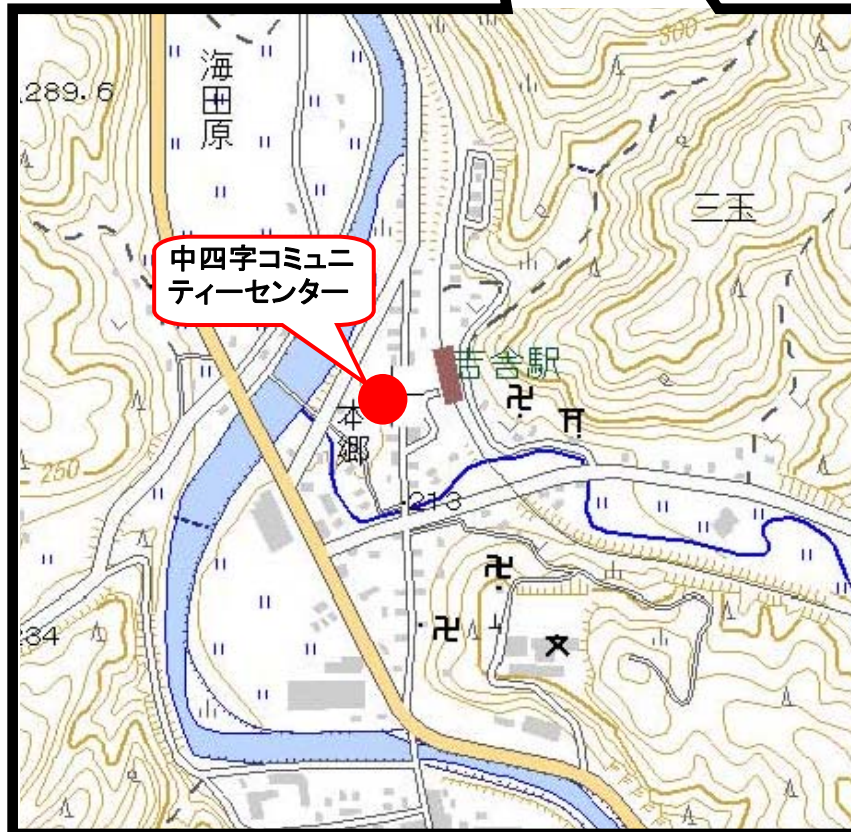
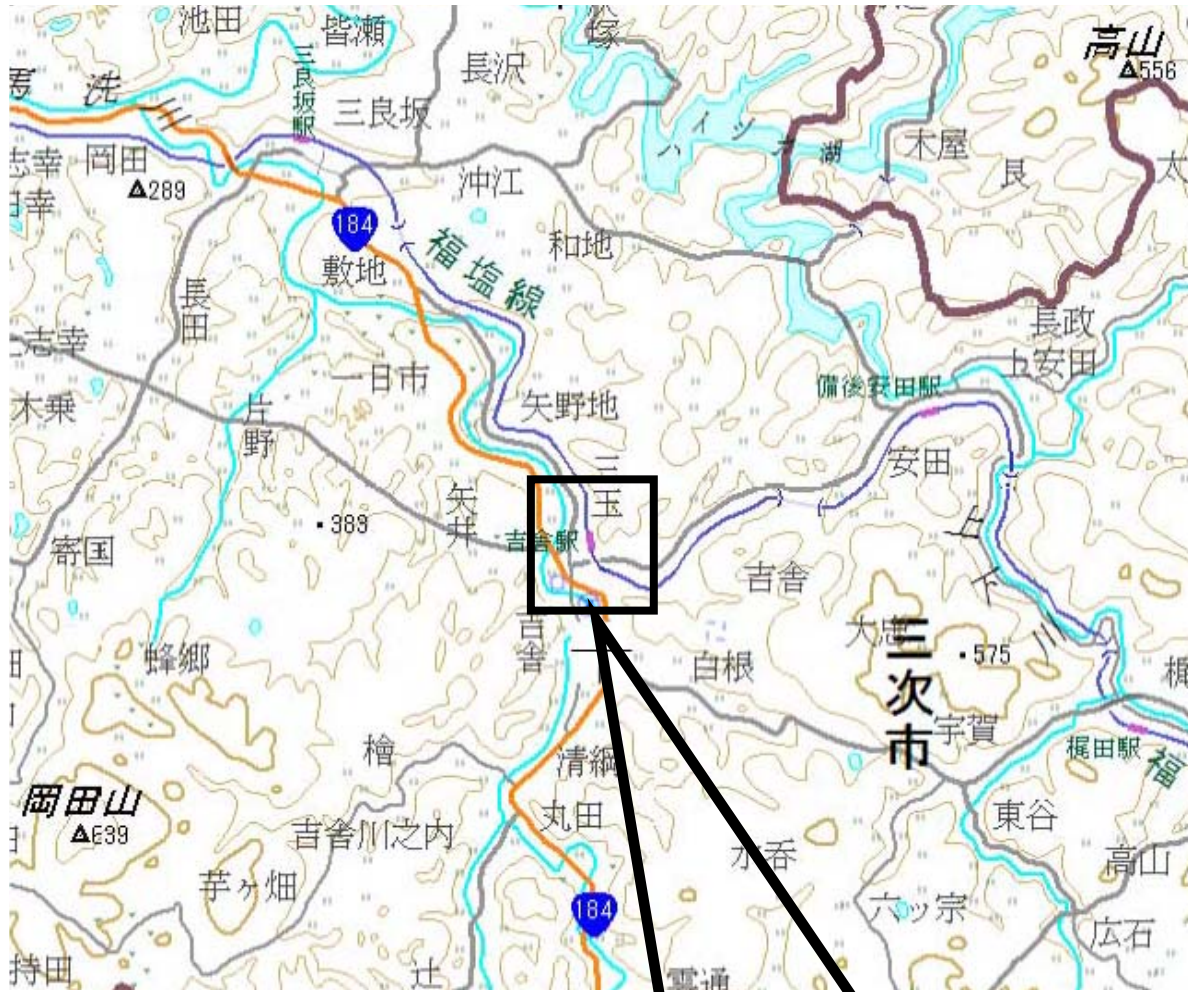
位置図



現地状況写真



案内図



中国横断自動車道尾道松江線

- 競争力のある地域経済社会の再構築
- 交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
- 国内交通ネットワークの強化
- 都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

中国横断自動車道尾道松江線は、尾道市を起点に三次市を経由し、松江市に至る、延長約137kmの高速自動車国道です。このうち、尾道JCT～三刀屋木次IC間(延長110.9km)は、直轄高速方式により整備しており、平成23年度までに延長31.5kmが供用しています。

平成24年度は三次JCT・IC(仮称)～吉田掛合IC間(延長48.7km)の改良、橋梁、舗装、トンネル、トンネル設備工事を推進し、平成24年度内の供用を目指すと共に、世羅IC～三次JCT・IC(仮称)間の文化財調査及び用地買収、改良、橋梁工事を推進し、平成26年度までに全線供用を目指します。

位置図



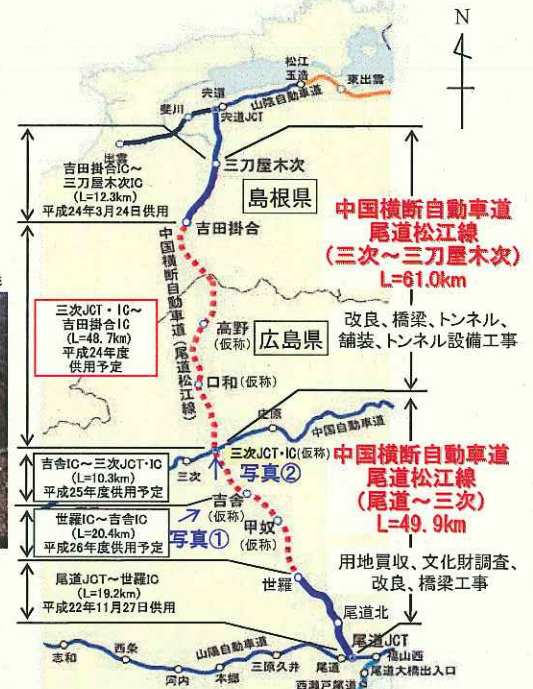
進捗状況写真



写真① 甲奴IC～吉舎IC間(海田原高架橋)



写真② 三次JCT・IC～口和IC間(三次JCT・IC付近)



期待される整備効果

- 主要都市間の所要時間短縮及びバリエーションの確保
- 尾道松江線の整備により、山陰・山陽間の所要時間が短縮され、相互の地域間交流及び人流・物流・産業交流の活発化、地域経済の向上が期待されます。



※所要時間は、下記の条件により算出
整備前：H17道路交通センサスの混雑時旅行速度
現況：尾道JCT～世羅IC間はV=70km/h、その他はH17道路交通センサス混雑時旅行速度
整備後：尾道松江線はV=70km/h、その他はH17道路交通センサス混雑時旅行速度

- 観光の支援(日帰り圏の拡大)
- 尾道松江線の整備により、松江市からの3時間圏(日帰り圏)が拡大されます。また、観光地間が時間短縮することにより、新たな観光ルートの開発や観光産業等による地域の活性化が期待されます。



※時間圏は、左記と同様に算出
資料：広島県、島根県、境港市観光動向調査結果(H22)
東京発バックツアーズの動線は、H18.10以降に東京から中国地方を
進行する添乗員同行の20ツアー(大手4社)を対象として集計。